

鹿児島県漁海況週報

令和2年11月12日発行(11月5日～11月11日)
第2878報【旧暦：9月20日～9月26日/月齢：19.3～25.3/潮汐：中潮～若潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL: 0993-27-9212, FAX: 0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、11月9日現在、屋久島御崎の北3.7マイル付近にあり、接岸してい

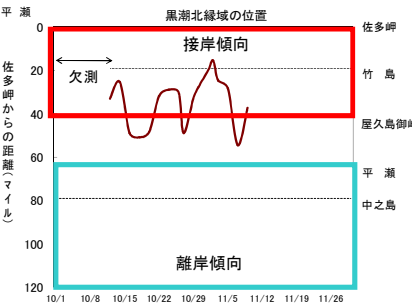
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、11月10日現在、84マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して全ての海域で0.2～1.6℃降温した。

平年比較では、中之島、笠利崎、与論、甌海峡で“やや高め”，その他の海域で“平年並”となった



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.9	-0.6	+0.3	平年並
鹿児島	22.6	-0.4	+0.2	平年並
佐多岬	23.1	-0.7	-0.3	平年並
竹島	24.6	-1.6	+0.1	平年並
屋久島御崎	25.1	-0.2	+0.2	平年並
中之島	25.8	-0.4	+0.5	やや高め
笠利崎	25.5	-0.4	+0.6	やや高め
与路島	25.4	-0.7	+0.2	平年並
与論	26.1	-1.1	+0.7	やや高め
甌海峡	23.6	-0.3	+1.3	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は11/9-11/10
串木野一甌定期客船観測は11/10

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、ウルメイワシ(60～70g)が1～5トン/日、カツオ(3～5kg)が1～5トン/日、スマ(1～1.5kg)が500kg/日、サワラ(400～500g)が400～500kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、カンパチ(3～4kg)が120～520kg/日、シマアジ(1.2～1.7kg)が300～400kg/日、スマ(1.2～1.5kg)が150～400kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でチチウオ(500～600g)が1トン、スマ(400～500g)が780kg、ブリ(1.2kg)が630kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で36統がチチウオ、マアジ小、カツオ類主体に30トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でサワラ、チチウオ、アジ類主体に12.7トンの入網。

○パショウカジキ情報

定置網では、西薩南部海域で20～40kgが1～3尾/日、鹿児島湾口部薩摩半島側で25～31kgが1～2尾/日、鹿児島湾口部大隅半島側で週計で23～41kgが4尾の入網。流し網では、西薩南部海域で1日のみ20～40kgを3尾/隻の漁。

○ブリ網付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、1.5～6kgを3～130尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、3～10kgを3～19尾/隻・日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ的漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2825報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	4	88	野間池沖	22.0	2	72	3	66
		中	12	159	縄瀬 野間池沖	13.3	2	41	7	34
	枕崎	大	7	233	屋久島南 屋久島北 飯下 甌東	33.3	0	—	13	484
		中	7	117	湯瀬 屋久島南 甌東 飯下	16.7	2	27	12	333
	内之浦	中	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
計	大	11	321		29.2	2	72	16	550	
	中	19	276		14.5	4	68	19	367	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—		—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	19	31	阿久根沖 長島	1.6	17	23	5	5	
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	36	30		0.8	35	19	39	22	
刺網	阿久根	26	2	甌 長島 牛深沖	0.1	8	1	26	2	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—
		小	0	—		—	0	—	0	—
	海旋	1	752		752.0	2	1485	0	—	
	海外旋網	山川	中	3	29		9.7	0	—	2
	海旋	2	790		395.0	0	—	0	—	

○キビナゴ刺網

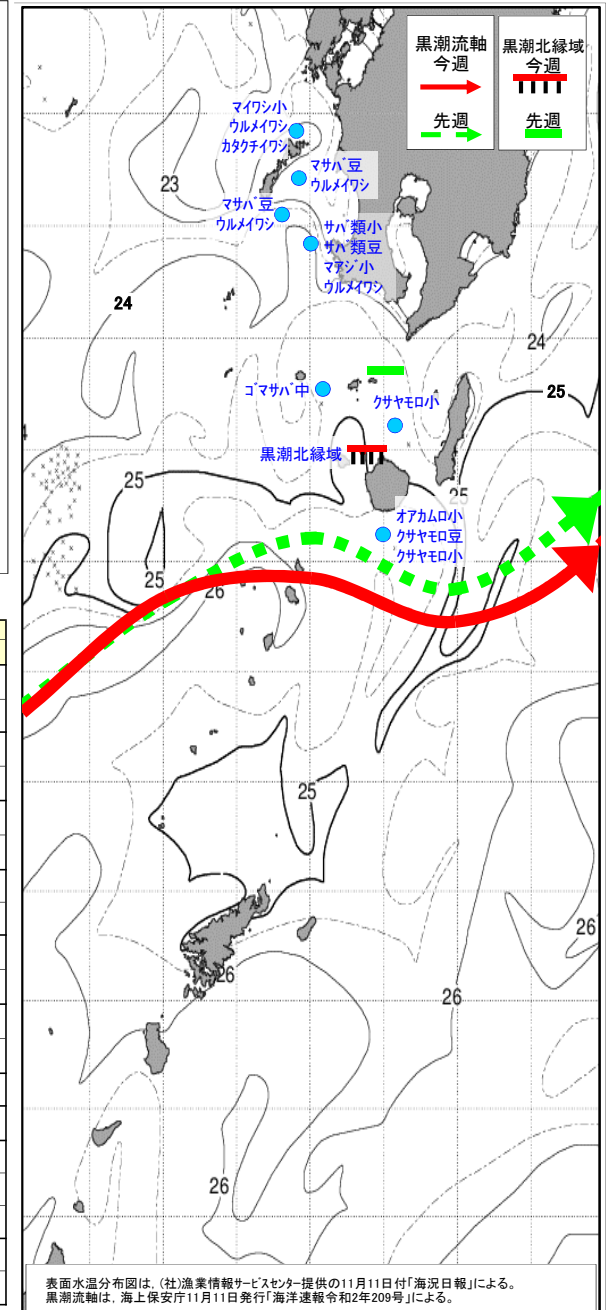
甌島海域では、2～8箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、1日のみ中トビを70箱/統の漁。屋久島海域では、中トビを13～96箱/統・日、1日のみ大トビを2箱/統の漁。

○その他

西薩海域では、底曳網でツキガイ(100g)を100kg/隻・日の漁。曳縄でサワラ(700g)を40kg/隻・日の漁。ごち網でマダイ(0.5～1kg)を6～35kg/隻・日の漁。一本釣りでメジナ(0.5～1kg)を30kg/隻・日、カンパチ(1kg)を4～30kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナガエビを50～400kg/隻・日の漁。曳縄でスマ(1.2～1.6kg)を40～60kg/隻・日、カマスサワラ(5kg)を20～70kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、かごでハイを10～40kg/隻・日の漁。底曳網でマダイ(1kg)を10～40kg/隻・日、チタイ(300～400g)を10～20kg/隻・日、ハモ(500～600g)を10kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでマダイ(4～7kg)を120～130kg/隻・日、コマサハ(600～700g)を30尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの2日操業でソデガ(胴体のみ3～14kg)を20～120ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の11月11日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁11月11日発行「海洋通報令和2年209号」による。